

平成28年度 事業報告



学校法人 加計学園

御影インターナショナルこども園

MIKAGE INTERNATIONAL KINDERGARTEN

「Be a Global Japanese! 一流の日本人になれ！」をコンセプトに、0歳児～5歳児の乳幼児を対象とした教育保育を行っています。

併設：御影小規模保育ルーム(神戸市小規模保育事業)

併設：M-K I S S (学童保育事業)



御影インターナショナルこども園は、開園より3年が経過し、今年、初めての卒園児を小学校に送り出しました。

本園の教育保育方針である「日本人としてのアイデンティティを身につけ、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てる」を具現化するため、本園の特色ある3つの柱「MIK教育プログラム」「英語イマージョンプログラム」「生活プログラム」を中心とした教育保育の実践により、それぞれの個性を伸ばし、発達段階に応じた生きる力を育みました。

御影小規模保育ルームにおいても、家庭的な保育環境を整え、保護者のニーズに合った教育保育に取り組みました。

また、M-K I S Sにおいても、英語イマージョン教育を中心に、小学生の放課後を安全安心して過ごせる場の提供を行いました。

今年度は、特に以下の項目において重点的に具体的に取り組みました。

- ① 保小連携
- ② 他園（幼稚園・保育所等）との連携
- ③ 施設設備の充実
- ④ 財務改善

御影インターナショナルこども園園長 西原 豊子

御影インターナショナル こども園

■教育活動計画

1. 0-1歳児

情緒の安定を第一に考え、保護者との連携を密にし、家庭生活とのバランスを取りながら保育を行いました。また、本年度は0歳児クラスにおいても、9月より石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養いました。

2. 2歳児

前述の保育内容に加え、プレイマージョンとして歌、体操、絵本読み聞かせなどについて積極的に英語を使った保育を行いました。また、心身の健全な発達を促すことを目的に、体育遊びの外部講師を招聘しました。

3. 3-5歳児

外国人教員と日本人保育士がペアでクラス運営にあたり、イマージョンディレクターが作成したプログラムに沿って、英語イマージョンプログラムを行いました。1月には、4・5歳児がCambridge Exam, Starters（ケンブリッジ国際児童英検スターターズテスト）を受験し、達成度を確認しました。

外部講師を招聘し、絵画造形、運動（サッカー・体育あそび）および論語のクラスを定期的実施しました。また、鍵盤ハーモニカについても、外部講師を招聘し、4・5歳児に指導をいただくなど、園児たちの興味と関心を広げ、大きく育てるための活

動を実施しました。

■他園との連携

子ども同士がふれあう機会を充実させ、人と繋がる力を育むために、近隣の幼稚園や保育園、インターナショナルスクールとの園児交流を行いました。

■保小連携

3月には、初めての卒園児が小学校に進学するにあたり、本園での生活の様子を要録として纏め、小学校に送りました。また、卒園後の進学に対する保護者のニーズに応えるため、近隣の公立小学校および私立小学校からの情報収集など、保小連携に取り組みました。

M-KISS

■教育活動計画

安心できる放課後支援の場として、地域の学童待機児童の受け皿として事業を行いました。英語イマージョン教育の学習効果を高め、シームレスな授業を展開するため、習熟度に応じたクラス編成を行い、同レベルの児童が共に学ぶ環境を整備しました。

また、新単元の授業日と復習を中心とした授業日を明確に分け、学習した内容の着実な定着に努めました。

御影小規模保育ルーム

■保育活動計画

1. 0-1歳児

健やかな生活を確立できるための環境を整えるとともに、健康や安全など日常生活に必要な基本的な習慣や態度が身につけられるよう働きかけを行いました。1歳児からは、石井式漢字教育を取り入れ、国語教育の礎を養いました。

2. 2歳児

前述の保育内容に加え、様々な体験ができる環境を整え、子どもの思いに共感しながら、豊かな感性を育むよう働きかけを行いました。

■地域との連携

地域社会の一員であることを自覚して、地域の方々との触れ合いを深めました。また、関係機関とのネットワークを通じて連携を図りました。

社会連携・社会貢献

■地域への貢献

地域の子育て家庭のため、毎月、園庭解放を行い、多くのご家庭にお越しいただきました。

7月には、夕涼み会を行い、縁日あそびや盆踊りなどを行い、地域の方に多数来園いただきました。

9月には、地域の老人会と交流を行い、楽しい時間を過ごしました。

10月には御影地区で行なわれている「みかげスイーツロードと公園のあかり」に協賛し、園庭を解放しました。大型絵本の読み聞かせや、英語でのパネルシアターの実施など、近隣の子育てをしている方々に多く来場いただきました。

更に、12月にはファミリーコンサートを開催するなど、地域の子育て支援を積極的に実施しています。

■地域活動への参画

地域の清掃活動や、神社の行事に積極的に参加し、地元との交流を深めました。

■ボランティア活動、就業体験受入

今年度も、地域ボランティアの皆さんに、しめ縄づくりや餅つきなどの行事に協力をいただきました。

近郊の大学からは、保育士を目指す就業体験学生の受け入れを行っており、今年度も9名の学生を受け入れました。

中学生が職場体験、福祉体験、勤労生産活動を行

う兵庫県独自の事業「トライやる・ウィーク」についても、平成28年度も就業体験生徒の受入を継続して行い、3校より11名の生徒を受け入れました。

環境整備

■施設の充実

年次進行で園児増となり、年齢に応じた遊びが必要となったことより、雲梯を中心とした大型遊具を追加導入しました。

■図書の実充

保育士の読み聞かせや子どもたちが読書に親しむための絵本などの、児童・幼児用図書の充実を図りました。また、絵本に親しむ機会を増やすため、8月より「ふくろう文庫」を開設し、絵本の貸し出しを開始しました。

■安全管理、健康管理

乳幼児や小学生の安心安全を担保する為、職員全員が、施設・遊具等の安全管理、感染症の予防などの健康管理の徹底を図りました。また、平成28年3月に内閣府が作成した「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応のためのガイドライン」について職員に徹底する取り組みを実施しました。

園児の健康管理について、保護者との情報の共有に努めるとともに、内科健診、歯科検診、眼科検診、耳鼻科検診を定期的に行い、早期発見、早期治療に努めました。

また、避難訓練を毎月実施し、防災への取り組みを継続して実施しました。また、毎年1月に神戸市全域で行なわれるシェイクアウト訓練に、本年度も参加しました。

■職員研修

園内研修については、保育士の能力向上を図るため、外部講師を招聘するなどして、計画的に実施しました。

園外研修についても、関係機関と連携して、職員の派遣を積極的に行いました。

園児の受入

■園児・児童の受入方針

家庭によっておさまの子育ての方針は、様々なことより、御影インターナショナルこども園及びM-KISSについては教育保育方針・目標などの内容を十分にご理解いただいたうえで、入園となるように努めました。

御影小規模保育ルームは認定施設のため、神戸市からの割り当てにより入園者を受け入れました。

■入園説明会・園庭開放

御影インターナショナルこども園では、新2歳児クラス以上への入園希望者を対象とした入園説明会を7回実施しました。新0～1歳児クラスへの入園希望者に対しては、個別見学を随時実施しました。また、園庭開放を毎月実施し、希望者に対しては、施設見学や園の方針の説明を行いました。

M-KISSにおいては、英語イメージ教育の内容や施設設備などに納得いただくため、個別見学を随時実施しました。

御影小規模保育ルームについても、神戸市へ支給認定手続き及び利用申込みの提出の際に、多くの入所希望者に選択いただけるよう、個別見学を随時実施し、園の保育方針の説明を行いました。

主な行事

4月2日	入園式
5月14日	親子のつどい
6月第3週	保育参観・個別懇談
7月29日	夕涼み会（地域・保護者参加）
9月8日	地域老人会交流
9月15日	祖父母参観日
10月1日	運動会
10月31日	ハロウィンパーティー
11月10日	七五三詣り（弓弦羽神社）
11月19日	保育参観・クラス懇談会
12月17日	みんなの発表会（乳児）
12月22日	クリスマス会
1月6日	お餅つき
2月18日	みんなの発表会（幼児）
3月18日	卒園式

その他行事

園庭開放(毎月)、入園説明会(7回/年)、誕生日会(毎月)、遠足(3回/年)、初詣、音楽会(1回/年)、科学教室(関連校連携、1回/年)、子育て講座(地域・保護者向け)

財務関係

■施設設備整備事業

(単位：千円)

事業名	金額
保育施設2用途変更に伴う改修工事	3,922
園庭への大型固定遊具の設置	1,450